

【 各位 】

2004年9月29日

東京都港区港南二丁目16番1号
株式会社マクロミル
代表取締役社長 CEO 杉本哲哉
(コード番号: 3730 東証マザーズ)
問合せ先: 取締役 CFO 岡本伊久男
電話番号: (03) 6716-0700 (代表)

マクロミル、企業成長率ランキング
「2004年デロイト トウシュ トーマツ 日本テクノロジー Fast 50」で第5位を受賞
～ 2001年から2003年にかけて、698%の収益成長率を記録 ～

ネットリサーチを提供する株式会社マクロミル(本社:東京都港区、社長:杉本哲哉、証券コード:東証マザーズ3730、以下マクロミル)は、デロイト トウシュ トーマツが9月28日に発表した、日本におけるテクノロジー、メディア、テレコミュニケーション(以下TMT)業界の急成長企業ランキング 第2回「デロイト トウシュ トーマツ 日本テクノロジー Fast 50」において、過去3年間の収益成長率《698%》が顕彰され、上位50社中「第5位」を受賞いたしました。

このランキングは、国際会計事務所組織、デロイト トウシュ トーマツ(以下DTT)のプログラムの一貫として世界各国および北米・欧州などの各地域ごとに実施されており、テクノロジー業界での成長性や成功のベンチマークとなっています。対象は、上場・未上場企業を問わずTMT業界に含まれる企業であり、直近3決算期の収益成長率をもとに上位50社が選出されます。マクロミルは、12月に発表が予定されている地域レベルのランキング第3回「アジア太平洋地域テクノロジー Fast500」に自動的にノミネートされます。

■ 「2004年日本テクノロジー Fast50」受賞のポイント

当社が収益成長率《698%》を達成した要因として、以下の点が挙げられます。

- ◆ 調査票の作成、調査対象者の抽出、実査、データ集計までの一連のリサーチ工程を一気通貫で処理する自動インターネットリサーチシステム【AIRs】(エアーズ)を独自開発、可能な限り業務をシステム化することでコストの低減と納品までの時間圧縮を実現しました。これにより、年間4000件を超える大量の調査案件をスムーズに処理することが可能となりました。
- ◆ 従来、受託請負型であった市場調査業界において、「営業力」を重視。ネットリサーチに特化した営業体制の構築、緻密な営業ツールの充実等より、新たな調査手法である「ネットリサーチ」の市場を開拓しました。
- ◆ タレントのイメージキャラクター起用や、積極的な自主調査結果のリリースなど、ブランド構築活動のほか、蓄積したノウハウの書籍化、品質管理方法の公表、顧客のニーズを吸い上げた新サービスの開発等により、ネットリサーチのリーディングカンパニーとしての地位を早期に築き上げました。

マクロミルは、今後も、「IT×マーケティング」の分野において、社会が求める迅速かつ柔軟な「イノベーション」を提供してゆきます。

以上

— 本件に関するお問い合わせ先 —

株式会社マクロミル 広報担当: 西沢
東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0721 E-mail:press@macromill.com

【株式会社マクロミル 会社概要】

社名 ■株式会社マクロミル
(証券コード：東証マザーズ 3730)

本社 ■東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
TEL 03-6716-0700/FAX 03-6716-0701

URL ■www.macromill.com

設立 ■2000年1月31日

資本金 ■8億4,665万円 (資本準備金：9億1,284万円) ※2004年7月末現在

代表者 ■代表取締役社長CEO 杉本哲哉 (すぎもと・てつや)

従業員数 ■98名 (うち、3名契約社員) ※2004年8月末現在

事業内容 ■インターネットを利用した自動調査システム
【AIRs】(Automatic Internet Research System) のASP事業
(QuickMill・OpenMill・CMMill・SampleMill)
ー携帯電話を利用した自動調査システムのASP事業 (MobileMill)
ーリサーチの企画および設計・分析レポートの作成
(Quick-ANALYZE・Quick-MINING・Quick-REPORT・Quick-CROSS)
ーリサーチ機能を持たない他社サイトへのシステムライセンス提供
ーオーダーメイドによる高度なネットリサーチの提供(OrderMill・DiaryMill)
およびマーケティングに関するコンサルティング業務

主な所属団体 ■社団法人 日本マーケティング協会 (JMA)
社団法人 日本マーケティング・リサーチ協会 (JMRA)
ヨーロッパ・マーケティング世論調査協会 (ESOMAR)

《マクロミルについて》

株式会社マクロミルは、独自に開発した自動ネットリサーチシステム【AIRs】(Automatic Internet Research System :エアーズ) を活用し、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声をインターネットで瞬時に集めるネットリサーチのリーディングカンパニーです。2004年1月、ネットリサーチ専門企業として初めて、東京証券取引所マザーズに上場を果たしました。

マクロミルのネットリサーチは、全国23万人を超える(2004年9月現在) モニタ会員に対し希望の条件でインターネットによるリサーチが可能です。リサーチ開始から24時間以内に結果納品、100サンプル・10問で5万円からの低コスト・スピーディなネットリサーチを提供します。マクロミルは、企業の意思決定に必要なマーケティング情報入手の"コスト"と"時間"を劇的にダウンサイズするサポートをいたします。

【日本テクノロジー Fast50 について】

「デロイト トウシュ トーマツ 日本テクノロジー Fast50」は、直近3決算期の収益成長率をもとに、日本の急成長テクノロジー企業50社を顕彰するプログラムです。このプログラムが日本のテクノロジー企業の成長や成功を知るベンチマークとなり、業界全体の高揚に大きく貢献することを目指しています。

デロイト トウシュ トーマツは、国レベルの顕彰プログラム「テクノロジーFast50」をテクノロジー先進国(日本、アメリカ、カナダ、英国、オーストラリアなど)にて、地域レベルの顕彰プログラム「テクノロジーFast500」を3極(北米、ヨーロッパ、アジア太平洋)にて開催しています。

「日本テクノロジーFast50」の応募企業は、自動的に「アジア太平洋地域テクノロジーFast500」の候補企業となります。

以下の必要事項を満たす、上場・未上場テクノロジー企業が、応募資格を有します。

1. 下記条件のいずれかを満たすテクノロジー企業である
 - 売上高の大半は、自社技術開発の成果である
 - テクノロジー関連製品を製造している
 - テクノロジーの研究開発に重点を置いている
2. 3年以上の業務実績がある
3. 対象期間の1年目の売上高がUS \$ 50,000 (\$1=120円の場合は約600万円) 以上である
4. 少なくとも、直近1年は、監査済みである
5. 日本資本の企業で、国内に本社 が所在する

ランキングは、直近3決算期の収益(売上高)成長率をもとに作成されています。2004年日本テクノロジーFast50では、1月～3月が決算期の企業は、2002年と2004年の収益成長率を基に、その他の決算期の企業は、2001年と2003年の収益成長率を基に算出しています。

【アジア太平洋地域テクノロジー Fast500 について】

DTT が世界 3 極で実施している、TMT 分野における急成長企業上位 500 社のランキング。1995 年から北米で、2002 年からはヨーロッパ、アジア太平洋地域において開始しました。昨年のアジア太平洋地域テクノロジーFast500 の上位 100 社には日本からは 16 社が入賞。香港にて授賞式を行い、日本から 8 社、アジア太平洋地域各国から計 120 社以上のエグゼクティブが出席しました。

なお、Fast50 およびFast500 プログラムの詳細については、<http://www.fast50.tohatsu.co.jp> よりご覧頂けます。